



## 「次なる挑戦への10年」

周防大島町長 椎木 巧

明けましておめでとございます。

皆様には、健やかで、輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶びを申し上げます。

さて、昨年十月には周防大島町が誕生して十周年を迎えました。合併は町民自らの意思に基づき大きな決断であり、「島を想う心は一つ」を合言葉に実現いたしました。この十年間は、町政を軌道にのせるための期間であり、決して平坦なものではありませんでしたが、着実に一歩一歩を歩んでまいりました。その困難な時期を担っていただいた皆様のご苦勞に敬意と感謝を表するものであります。

そして今、「次なる挑戦への10年」が待ち受けており、本年も引き続き最重要課題として、3つの重点目標を掲げ、取り組んでまいります。

第一は「定住対策」であります。これまでもやれることは全てやる覚悟で、あらゆる政策資源を投入して取り組んでまいりました。その結果、総務省の人

口動態調査では、転入者が転出者を上回る「社会増」が、平成二十四年では十九人、平成二十五年は二十三人となり、定住対策を掲げている本町にとりましては非常に喜ばしい数字となっておりま。

第二は「防災安全対策の充実」であります。

災害対策基本法が改正され、「避難」は災害から命を守る行動であることが改めて定義され、避難行動につきましても、安全な場所での待避という屋内に留まる安全確保も避難行動の一つであるとされております。

どのような災害時においても被害を最小限にするためには、「自助」である災害への備え、「共助」である地域の支え合いが必ず不可欠で、自主防災組織への支援を継続し、「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域の絆と防災力強化の取り組みを更に進めてまいります。

第三は「健康づくり」であります。

生涯にわたり、いきいきとした

人生を送るためには、健康で自立した暮らしが出来ることが重要であり、自らが積極的に健康づくりに取り組み、健康寿命を延ばす必要があります。こうしたことから、健診の受診率を高め、皆様と行政が協力しながら健康づくりを推進してまいります。

地方創生元年の年頭にあたり、町民の皆様が安心・安全に生活でき、生きがいをもって暮らすとともに、周防大島町を愛し、誇りの持てる町にするために、さらには、この歴史ある周防大島町が素晴らしい町になるように、私のモットーであります「まじめに、誠実に、地道に、謙虚に、そして確実に」を基本として、住民本位の行政を推進し、皆様とともに幸せに暮らせる町づくりに向け取り組んでまいれる決意でありますので、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

今年が皆様にとりまして、良き年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。